

2024年度「移動サービス専用自動車保険」のご案内

「移動サービス専用自動車保険」はファミリー・サポート・センターの活動中、サービス提供会員の自家用車を用いて依頼子供の送迎等（移動サービス）を行っている間の事故について、サービス提供会員が加入している自動車保険に優先してお支払いする保険です。

今回ご案内の「移動サービス専用自動車保険」にご加入頂くことで、より安心して提供会員が活動を行えるようになります。「送迎」等の活動を行っているファミリー・サポート・センターの皆様におかれましてはぜひご加入を検討ください。

<対象となる事業>

- ファミリー・サポート・センター事業
- 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）
- 養育支援訪問事業
- 子育て短期支援事業
- 一時預かり事業（訪問型の活動に限ります。）
- ひとり親家庭等日常生活支援事業
- 子育て世帯訪問支援事業

※これらの事業名は国の施策に基づいたもので、自治体によっては別の名称が使われることがあります。

※本ご案内においては、ファミリー・サポート・センター事業を主として記載しています。それ以外の事業に関しては、事業名をそれぞれ該当する事業名に、ファミリー・サポート・センターを自治体及びそこから委託を受けた方に、依頼会員を依頼者に、提供会員を提供者に、それぞれ読み替えてください。

【保険契約者・記名被保険者の範囲】

ファミリー・サポート・センター事業を実施する地方公共団体等または事業受託団体等が対象となります。

※本保険はファミリー・サポート・センター事業を実施する地方公共団体等または事業受託団体等を契約者・記名被保険者とし、1. 記名被保険者、2. 記名被保険者の指示により、移動サービスのために自家用自動車を運転している者、3. 記名被保険者の使用人を被保険者とする包括契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は、原則として契約者であるファミリー・サポート・センター事業を実施する地方公共団体等または事業受託団体等が有します。詳細は、契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点等については、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

2024年5月1日始期以降契約より、ご加入実態に合わせてお選びいただくプランが変更となりました。

	従来	2024年5月1日始期以降
プラン名	Aプラン、Bプラン、Cプラン	車両保険ありプラン、車両保険なしプラン
変更点	Bプランを廃止し、車両補償ありORなしの2種類のシンプルな設計としました。	

※プラン毎の詳細は4ページをご確認ください。

ご加入内容をご確認ください。

ご加入・更新いただく前に保険商品がご希望に合致した内容となっていることを再度ご確認ください。加入依頼書の記載事項等につきましては、重要事項説明書をご確認いただき、記載漏れ・記載誤りがある場合は、追記・訂正をお願いいたします。また、更新の場合は、現在のご加入内容についてもあわせてご確認ください。万一、誤りがありましたら、女性労働協会までお問合せくださいますようお願いいたします。

<本商品開発の背景>

表1の通り、平成29年のファミリー・サポート・センター活動の中で、「送迎」に関連した活動は合計すると58.6%にのびります（公共交通機関を用いての送迎を含む）。

[表1] ファミリー・サポート・センター内容別活動件数

	活動内容	件数	全体に占める割合
1位	保育施設までの送迎	317,629件	20.2%
2位	放課後の学習塾等までの送迎	301,896件	19.2%
3位	保育施設の保育時間前後等の子供預かり	249,205件	15.9%
4位	放課後児童クラブ開始前後の預かり・送迎	247,480件	15.7%
⋮			
8位	障害を持つ子供の預かり・送迎	54,951件	3.5%

(平成30年度 女性労働協会調査より)

一方、表2の通り、ファミリー・サポート・センター活動における発生事故のうち、約27%の73件が自動車利用中の事故となっております。自動車利用中の事故は、他の事故に比べて重大化する危険性が高く、十分な備えが必要です。

[表2] ファミリー・サポート・センター原因別事故件数（複数回答）

	活動内容	件数	全体に占める割合
1位	転倒（転ぶ、つまづく等）	201件	73.4%
2位	自動車利用	73件	26.6%
3位	接触（他者、構造物等）	60件	21.9%
4位	その他	44件	16.1%
5位	転落（家具、階段等）	41件	15.0%

(平成30年度 女性労働協会調査より)

現在、一日の中で、自動車死亡事故が最も多く発生している時間帯は17時～19時となっております（警察庁調査 平成27年～令和元年）。

ファミリー・サポート・センターの送迎関連活動が、保育施設の時間外や学校の放課後に多く実施されている実態を鑑みると、運転にあたり十分な注意が求められるのはもちろんですが、万が一の際に提供会員・依頼子供をお守りする仕組みも必要です。

ファミリー・サポート・センター事業における「送迎」の比率は年々高くなっておりませんが、これまで万が一、活動中に自動車事故が発生した場合は、運転者の方が加入している自動車保険を使用せざるを得ない状況でした。

提供会員が安心して送迎活動を行うための体制整備はファミリー・サポート・センターにとって急務となっております。本商品はそういったニーズを受け、東京海上日動火災保険株式会社と共同で開発した商品となります。是非ご加入をご検討ください。

<商品正式名称>

移動サービス事業者向け自動車保険特約付帯一般自動車保険

(移動サービスとは、自家用車を用いて利用者を輸送するサービスのことを言います。なお、自家用車を運転するのは提供会員を想定した保険となっております。)

<保険契約者・記名被保険者>

ファミリー・サポート・センター事業を実施する地方公共団体等または事業受託団体等。

<被保険者>

- (1) 記名被保険者
- (2) 記名被保険者の指示により、移動サービスのために自家用自動車を運行している者
- (3) 記名被保険者の使用人

<対象自動車>

サービス提供会員の自家用車等、移動サービスのために使用する自動車。但し、移動サービスを提供する事業者が自ら所有する自動車、または常時使用する自動車を除きます。

<対象となる担保種目>

- (1) 対人賠償責任保険
- (2) 対物賠償責任保険
- (3) 車両保険

<保険期間>

2024年5月1日午後4時から2025年5月1日午後4時までです。それ以外の保険期間をご希望の方は女性労働協会までご相談ください。

<個々の車両の責任期間>

移動サービスの運転を開始した時から、その運転を終了した時まで(合理的な経路・範囲に限ります)。出勤・退勤時の自動車運転、プライベート等での自動車運転は本商品の補償対象外となります。

個々の移動サービスごとの自家用自動車の運転者、登録番号等、運行開始した日時および終了した日時等を毎月女性労働協会(保険代理店)に通知することが必要です。

<保険料>

保険期間終了後、通知内容に基づき確定保険料を計算し、契約締結時に領収した暫定保険料との差額を追加領収または返還します。

詳細については4ページをご覧ください。

<ご注意>

4ページ記載の保険料は契約初年度の保険料となります。更新時の保険料は、前年の事故状況等により増減する可能性があります。

<ご加入の流れ>

- (1) 4ページ記載の各プラン(車両保険あり・なしの2種類)詳細をご覧頂き、加入するプランを決定ください。
- (2) 7ページ記載の「加入手続き」に従って、手続きを進めてください。

<補償内容と保険料について> (保険期間：1年)

		各プランの補償内容※1	
		車両保険ありプラン	車両保険なしプラン
保険期間		1年間	1年間
補償	対人賠償責任保険	無制限 免責金額(自己負担額)なし	無制限 免責金額(自己負担額)なし
	対物賠償責任保険		
	自損事故傷害特約	○	○
	対物超過 修理費用補償特約	○	○
	車両保険 (一般条件)※2	○ 免責金額(自己負担額) 0円	×
概算保険料/ 1台・稼働日1日あたり ※3		1,210円	400円
最低保険料(年間総額)		1,000円	

※1 移動サービスの提供における合理的な経路を著しく逸脱して自動車を運行している間に生じた事故による損害・傷害については保険金をお支払い致しません。また対人賠償において、自賠責保険等により支払われる金額がある場合は、それを超える金額のみお支払い致します。

※2 時価額または保険金額(300万円)のいずれか低い額を限度に保険金を支払います。

※3 別紙【移動サービス専用自動車保険 個別適用保険料のお知らせ】が同封されている場合は、そちらに記載の保険料が適用となります。

(注)上記で対象とならない補償および車両保険等保険金額が異なるケースでは、運転者が加入している車両の保険を使うことも可能です。

<暫定保険料例>

車両保険なしプラン、総提供日数が800日の場合

400円 × 総提供日数800日 = 年間保険料 320,000円

※総提供日数は、「対象台数 × 1台あたり稼働日数」の掛け算で求めます。掛け算の結果が同じであれば対象台数と稼働日の内訳は保険料に影響致しません。

例えば、「対象台数4台、1台あたり稼働日数200日」、「対象台数8台、1台あたり稼働日数100日」、「対象台数100台、1台あたり稼働日数8日」、「対象台数200台、1台あたり稼働日数4日」は、いずれも掛け算の結果が総提供日数800日となりますので、同一の暫定保険料となります。

対象台数4台、1台あたり稼働日数200日、総提供日数800日となる例

〇〇市ファミサポ		△△市ファミサポ	
対象車 (対象台数4台)	車ごとの稼働日数 1台あたりの稼働日数が <u>同じ</u> 場合	対象車 (対象台数4台)	車ごとの稼働日数 1台あたりの稼働日数が <u>違う</u> 場合
車A	200日/365日	車A	150日/365日
車B	200日/365日	車B	250日/365日
車C	200日/365日	車C	50日/365日
車D	200日/365日	車D	350日/365日
総提供日数	800日 (稼働日数の合計)	総提供日数	800日 (稼働日数の合計)
1台あたり稼働日数	200日 (総提供日数÷対象台数)	1台あたり稼働日数	200日 (総提供日数÷対象台数)
対象台数4台×1台あたり稼働日数200日=総提供日数800日			

上記の例では、〇〇市ファミサポも△△市ファミサポも同一の総提供日数となります。いずれの場合も、おおよその対象台数と1日あたりの稼働日数が分かれば、お支払い頂く保険料の算出が可能です。△△市ファミサポのように、車ごとに稼働日数が違う場合でも、加入に関して詳細な稼働計画を立てて頂く必要はありません。

保険料の精算について

保険期間終了後、申込時の総提供日数と実際の総提供日数の差に応じて精算を行い、保険料の返還または追加領収をいたします。保険期間中に対象台数の増加や提供日数の増減があった場合でも補償の対象となります。

<保険料の返還の例> 実際の総提供日数が630日と、申込み時の総提供日数800日より少なかった場合

車両保険なしプランの例	①保険料/1台・1日	②総提供日数	③総額保険料 (①×②)
暫定保険料(I)	400円	800日	320,000円
確定保険料(II)	400円	630日	252,000円
返還保険料(I-II)			返還 68,000円

<保険料の追加領収の例> 実際の総提供日数が918日と、申込み時の総提供日数800日より多かった場合

車両保険なしプランの例	①保険料/1台・1日	②総提供日数	③総額保険料 (①×②)
暫定保険料(I)	400円	800日	320,000円
確定保険料(II)	400円	918日	367,200円
追加領収保険料(I-II)			追加領収 47,200円

<補償内容詳細>

<p>対人賠償責任保険</p>	<p>他人にケガをさせてしまったときの法律上の損害賠償責任を補償します。 ご契約のお車の事故により、他人を死亡させたり、ケガをさせて、法律上の損害賠償責任を負う場合 ▶相手側1名について以下の保険金額を限度に保険金をお支払い致します。ただし、自賠責保険等で支払われる金額がある場合は、その超過額に対してのみ保険金をお支払い致します。</p> <table border="1" data-bbox="424 409 943 443"> <tr> <td>[保険金額]</td> <td>保険金額</td> <td>無制限</td> </tr> </table>	[保険金額]	保険金額	無制限					
[保険金額]	保険金額	無制限							
<p>対物賠償責任保険</p>	<p>他人の物を壊してしまったとき等の法律上の損害賠償責任を補償します。 ご契約のお車の事故により、車や塀等の他人の財物を壊したり、ご契約のお車が線路に立ち入り、電車等を運行不能にしたりして、法律上の損害賠償責任を負う場合 ▶1事故について以下の保険金額を限度に保険金をお支払い致します。</p> <table border="1" data-bbox="424 602 943 636"> <tr> <td>[保険金額]</td> <td>保険金額</td> <td>無制限</td> </tr> </table>	[保険金額]	保険金額	無制限					
[保険金額]	保険金額	無制限							
<p>車両保険 (車両保険ありの場合)</p>	<p>ご契約のお車の修理費等を補償します。 衝突、接触などの事故により、ご契約のお車に損害が生じた場合 ▶損害額から免責金額(自己負担額)を差し引いた金額を保険金額を限度にお支払い致します。</p> <table border="1" data-bbox="424 790 943 824"> <tr> <td>[保険金額]</td> <td>保険金額</td> <td>300万円</td> </tr> </table>	[保険金額]	保険金額	300万円					
[保険金額]	保険金額	300万円							
<p>自損事故傷害特約</p>	<p>単独事故でケガをした場合等に保険金をお支払い致します。 ご契約のお車の所有者、運転者または搭乗者が、単独事故(電柱に衝突した事故等)やご契約のお車側に100%過失がある事故により死傷し、自賠責保険等や政府保障事業では補償されない場合に保険金が支払われる特約です。なお、自損事故傷害特約の対象とならなかった場合(単独事故以外の場合等)でも、「地域子育て支援補償保険」「子育て相互援助活動補償保険」の傷害補償の対象となる場合があります。</p> <table border="1" data-bbox="424 1084 1430 1402"> <tr> <td>死亡保険金</td> <td>死亡された場合、1,500万円をお支払いします。 ※すでに支払った後遺障害保険金がある場合は、1,500万円からすでに支払った金額を控除した残額をお支払いします。</td> </tr> <tr> <td>後遺障害保険金</td> <td>後遺障害が生じた場合、その程度に応じて50万円～2,000万円をお支払いします。</td> </tr> <tr> <td>介護費用保険金</td> <td>引受保険会社が定める介護を要する重度の後遺障害が生じた場合、200万円をお支払いします。</td> </tr> <tr> <td>傷害保険金</td> <td>医師等の治療を必要とした場合、医師等が治療を必要と認める治療日数に対して、入院1日につき6,000円、通院1日につき4,000円をお支払いします。ただし、1事故1名につき100万円を限度とします。</td> </tr> </table>	死亡保険金	死亡された場合、1,500万円をお支払いします。 ※すでに支払った後遺障害保険金がある場合は、1,500万円からすでに支払った金額を控除した残額をお支払いします。	後遺障害保険金	後遺障害が生じた場合、その程度に応じて50万円～2,000万円をお支払いします。	介護費用保険金	引受保険会社が定める介護を要する重度の後遺障害が生じた場合、200万円をお支払いします。	傷害保険金	医師等の治療を必要とした場合、医師等が治療を必要と認める治療日数に対して、入院1日につき6,000円、通院1日につき4,000円をお支払いします。ただし、1事故1名につき100万円を限度とします。
死亡保険金	死亡された場合、1,500万円をお支払いします。 ※すでに支払った後遺障害保険金がある場合は、1,500万円からすでに支払った金額を控除した残額をお支払いします。								
後遺障害保険金	後遺障害が生じた場合、その程度に応じて50万円～2,000万円をお支払いします。								
介護費用保険金	引受保険会社が定める介護を要する重度の後遺障害が生じた場合、200万円をお支払いします。								
傷害保険金	医師等の治療を必要とした場合、医師等が治療を必要と認める治療日数に対して、入院1日につき6,000円、通院1日につき4,000円をお支払いします。ただし、1事故1名につき100万円を限度とします。								
<p>対物超過修理費用補償特約</p>	<p>対物賠償責任保険では補償されない、相手方の車の「時価額を超える修理費」を補償します。 対物賠償責任保険で補償する事故で、相手方の車の時価額を超える修理費が発生し、補償を受けられる方がその差額分を負担する場合、差額分の修理費に補償を受けられる方の過失割合を乗じた額を保険金としてお支払いします。1事故について相手方の車1台あたり50万円が限度です。 ※損害が生じた日の翌日から起算して6か月以内に修理を行った場合に限りです。</p> <p>【例】</p> <table border="1" data-bbox="448 1700 898 1733"> <tr> <td>過失割合</td> </tr> </table> <p>補償を受けられる方 80% 相手方 20%</p> <table border="1" data-bbox="448 1789 898 1823"> <tr> <td>相手方の車の状態</td> </tr> </table> <p>時価額 60万円 修理費 100万円</p> <div data-bbox="949 1675 1417 1874"> <p>時価額 60万円 修理費 100万円</p> <p>時価額を超える修理費 40万円</p> <p>対物賠償責任保険で 48万円を補償 (60万円×80%)</p> <p>対物超過修理費特約で 32万円を補償 (40万円×80%)</p> </div>	過失割合	相手方の車の状態						
過失割合									
相手方の車の状態									

・示談交渉等について

賠償事故(対人・対物)の場合、補償を受けられる方および相手方の同意が得られれば、引受保険会社が補償を受けられる方のために示談交渉をお引き受けします。ただし、補償を受けられる方に法律上の損害賠償責任がない場合や、補償を受けられる方が正当な理由なく引受保険会社への協力を拒まれた場合等には、引受保険会社は相手方との示談交渉はできません。(対物賠償事故の場合には一般社団法人日本損害保険協会に登録された物損事故調査員が弁護士を補助し、その指示にしたがって事故対応にあたる場合があります。)

加入手続き

<お申込みから保険料のお支払いまで>

- 1 5月1日保険始期の場合
(保険期間：2024年5月1日午後4時～2025年5月1日午後4時)
9ページの「移動サービス専用自動車保険」加入依頼書(様式1)に必要事項を記入し、FAX(03-3456-4420)にて女性労働協会へ送信してお申し込みください。
加入申込み期限：3月15日(金)締切です。
お申し込みFAXが到着後、女性労働協会より見積書と請求書をご郵送します。
請求書受取後、指定の銀行口座に保険料をお振込みください。
加入支払い期限：4月12日(金)締切です。
- 2 5月1日以外の保険始期の場合
(保険期間の例：2024年10月1日午後4時～2025年10月1日午後4時)
9ページの「移動サービス専用自動車保険」加入依頼書(様式1)に必要事項を記入し、FAX(03-3456-4420)にて女性労働協会へ送信してお申し込みください。
保険開始日(補償開始日)は毎月1日です。(例：10月1日)
加入申込み期限：保険開始日の前月の10日です。(例：9月10日)
加入支払い期限：保険開始日の前月の20日です。(例：9月20日)

<重要事項説明書について>

ご加入に際しては、パンフレット兼重要事項説明書を以下URLより印刷もしくはPC等に保存し、必ず内容をお読みください。商品名は「TAP(一般自動車保険)」をご選択ください。

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/service/auto/pamphlet/>

ご加入にあたっての注意事項

以下の要件をすべて満たすことが必要となります。

- (1) 提供する移動サービスについて、サービス利用規定を定めていること
(規定例は11ページ、12ページを参照ください)
- (2) 自家用自動車の運転者および契約自動車を管理する帳簿を備えること
(13ページの登録ドライバー・登録自動車一覧を参照)
- (3) 自家用自動車の運転者および契約自動車ごとの輸送記録を付けること
(14ページ、15ページの毎月通知書および別紙をもって輸送記録とします)

<証券>

東京海上日動火災保険(株)より証券・特約書をご郵送致します。大切に保管いただきますようお願いいたします。

<通知書・「事故が起きたら」冊子>

加入後、女性労働協会より毎月通知書(本紙・別紙)、「事故が起きたら」のご案内をメールにて送付致します。

毎月通知の記載方法については14ページ、15ページをご覧ください。また「事故が起きたら」冊子は各自動車の車内に備え付け、万が一事故が発生した際にご覧になれるようにしてください。

<加入依頼書の送付先>

一般財団法人 女性労働協会
〒105-0014 東京都港区芝2-27-8
VORT 芝公園 8F
TEL: 03-3456-4410 FAX: 03-3456-4420

<保険料の振込み先>

みずほ銀行 芝支店 普通口座 No.2469730
口座名義：(株)ジョセイロウドウキョウカイ
一般財団法人 女性労働協会

毎月報告の手続き

本商品は稼働台数の毎月報告が必要です。加入後電子データで送付される様式に必要な事項を記載の上、毎月の締切日までに本紙および別紙を女性労働協会までご郵送ください。

毎月の通知締切日：報告対象月の翌月末

例：報告対象月が5月の場合、通知締切日は6月30日となります。

記載方法は本紙14ページ、15ページをご参照ください。

事故が発生した際の手続き

事故が発生し保険金を請求する場合、ファミリー・サポート・センターは、事故報告書を女性労働協会へFAXしてください。事故報告書は、指定の様式が10ページにあります。事故報告書は、直ちに送ってください。その後は保険会社の指示に従ってください。

保険金の請求にあたっては、約款に定める書類のほか、以下の書類をご提出いただく場合があります。

- ・印鑑登録証明書、住民票または戸籍謄本等の補償を受けられる方を確認するための書類
- ・他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書等、引受保険会社が支払うべき保険金の額を算出するための書類
- ・自動車検査証等、お車の登録内容や廃車の事実を確認するための書類
- ・引受保険会社が保険金を支払うために必要な事項の確認を行うための同意書

その他

- (1) 引受保険会社が経営破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。なお、経営が破綻した場合には、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は、原則として80%（破綻保険会社の支払停止から3か月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100%）まで補償されます。
- (2) 本制度についての保険契約上の重要事項については、<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/service/auto/pamphlet/>に掲載されている、「パンフレット兼重要事項説明書」に記載されていますので、内容をご確認の上、お手続きいただきますようお願い致します。
- (3) 各種様式のデータをご希望の場合は別途女性労働協会にお問い合わせください。

【取扱代理店・お問い合わせ先】

一般財団法人 女性労働協会 保険代理店部門

〒105-0014 東京都港区芝2-27-8 VORT 芝公園8F

TEL：03-3456-4410 FAX：03-3456-4420

【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社（担当課）公務第一部公務第二課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL：03-3515-4124 FAX：03-3515-4125

(様式1)

一般財団法人 女性労働協会 行 (FAX: 03-3456-4420)

2024年度「移動サービス専用自動車保険」年間加入依頼書

加入依頼書は保険契約申込書の一部を成します。

—ご加入に際して—

私は、以下の事項について確認・同意のうえ、この保険への加入を依頼します。

1. 重要事項説明書のダウンロードまたは印刷を行うこと (P7参照) 2. 重要事項説明書の内容 3. 重要事項説明書記載の「個人情報」の取扱いに関するご案内の内容

私は、上記事項を確認し、保険契約者である団体に対して加入を依頼します。

設置自治体名:																
(1) 加入依頼日	20 年 月 日															
(2) 保険期間 (1年間)	20 年 月 日午後4時 ~ 20 年 月 日午後4時															
(3) 事業名 (該当するもの1つに✓を付けてください。)	<input type="checkbox"/> ファミリー・サポート・センター事業 <input type="checkbox"/> 乳児家庭全戸訪問事業 <input type="checkbox"/> 養育支援訪問事業 <input type="checkbox"/> 子育て短期支援事業 <input type="checkbox"/> 一時預かり事業 <input type="checkbox"/> ひとり親家庭等日常生活支援事業 <input type="checkbox"/> 子育て世帯訪問支援事業															
(4) 事業の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 (委託を受けている団体:)															
(5) ★ 加入団体名 (センター名 または〇〇市△△課等) ★ 団体所在地 ※証券の送付先となります。	(フリガナ)															
	(フリガナ)															
	〒															
団体連絡先	TEL: FAX: E-mail:															
(6) ★ 契約者名 (役職名および 氏名も記入してください。)	(フリガナ)															
	法人の名称:															
	(フリガナ)															
	役職名:															
(7) 設置自治体住所・連絡先	(フリガナ)															
	部署課名:															
	〒 TEL: FAX:															
(8) 請求書・加入者証	<input type="checkbox"/> 団体へ送付 <input type="checkbox"/> 設置自治体所管部署課へ送付															
(9) サービス利用規定	<input type="checkbox"/> 施行済 (施行日 20 年 月 日) 正式名称 ()															
(10) 加入プラン・保険料	<table border="1"><thead><tr><th>保険タイプ</th><th>①保険料(円) (1台・1日あたり)</th><th>②台数</th><th>③稼働日数</th><th>④総額保険料(円) (①×②×③)</th></tr></thead><tbody><tr><td>車両保険ありプラン (免責0円)</td><td>1,210</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>車両保険なし プラン</td><td>400</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	保険タイプ	①保険料(円) (1台・1日あたり)	②台数	③稼働日数	④総額保険料(円) (①×②×③)	車両保険ありプラン (免責0円)	1,210				車両保険なし プラン	400			
	保険タイプ	①保険料(円) (1台・1日あたり)	②台数	③稼働日数	④総額保険料(円) (①×②×③)											
	車両保険ありプラン (免責0円)	1,210														
車両保険なし プラン	400															
太枠内の④総額保険料を振込ください (振込手数料はご負担ください)。																
(11) 保険料振込予定日	振込予定日: 20 年 月 日															
(12) 加入依頼担当者	氏名:															
	所属・役職:															
	TEL:															
	E-mail: 私は、「ご加入に際して」を 確認し加入を依頼します。															

★が付された事項は、ご加入に関する重要な事項 (告知事項) です。これらについてお答えいただいた内容が事実と異なる場合や事実をお答えいただかない場合はご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがありますので、ご注意ください。

(様式2) ファミリー・サポート・センター⇒女性労働協会 (FAX: 03-3456-4420)

2024年度「移動サービス専用自動車保険」事故報告書

「移動サービス専用自動車保険」において対象となる事故は、移動支援サービス提供中の事故に限ります。別添の①輸送記録(※)、②経路図により、移動支援サービス提供中の事故であることを確認済みです。可能な範囲で事故状況をご記入ください。

(※) 管理者が、運転者ごとに、使用車両、利用日、利用者、乗降場所、乗降時刻等を記録(1日ごと)

証券番号:	
①契約者・ 記名被保 険者情報	ファミリー・サポート・センター名(担当者名) TEL 住所 〒 FAX E-mail
②事故内容	発生日時 年 月 日 午前・午後 時 分頃
	発生場所 警察署
	事故状況(できるだけ具体的に)
③当方	(フリガナ) 運転者(提供会員)氏名 電話 生年月日 年 月 日 免許有効期限 年 月 日まで
	登録番号(Noプレート) 車名(被害物)
	修理工場名 (担当: 様) 電話:
<対人事故の場合、当方車両の自賠責保険の情報>	
保険会社名:	証明書番号:
保険期間: 年 月 日 ~ 年 月 日	
④相手	(フリガナ) 運転者氏名 住所 電話
	(フリガナ) 所有者名 住所 電話
	登録番号(Noプレート) 車名(被害物)
	修理工場名 (担当: 様) 電話:
	相手加入の保険会社 (担当: 様) 電話:
<対人事故の場合下記に記載>	
受傷者氏名(フリガナ):	連絡先(住所・電話):
医療機関名・電話:	
受傷内容:	
上記の事故は、対象となる事業のサービス提供中に生じた事故であることを証明します。	
加入団体所在地	
加入団体名	
代表者氏名	印 担当者名

〇〇市ファミリー・サポート・センター 自家用車使用規定

第1条（目的）

この規定は、提供会員の所有する（リース使用含む）車両（以下「自家用車」という。）を送迎に使用する場合の取扱いについて定める。

第2条（所管）

この規定に定める事務の取扱いは、〇〇市ファミリー・サポート・センター（以下、「センター」という）の所管とする。

第3条（自家用車使用許可基準）

送迎サービスの提供に自家用車使用を許可する基準は、次の通りとする。

- (1) 使用する車両が提供会員自身又は提供会員家族の所有車（リース使用含む）であること。
- (2) 送迎距離、公共交通の有無、依頼内容等を勘案し、センターが必要と認めること。
- (3) 提供会員が直近1年間で複数回の交通事故を惹起していないこと。
- (4) 車両が整備されたものであること。
- (5) 次の種類の自動車保険に加入していること。

①自動車損害賠償責任保険

②自動車保険（任意保険）

- ・対人賠償 無制限
- ・対物賠償 無制限

第4条（自家用車使用許可申請）

送迎に自家用車を使用する提供会員は、あらかじめ自家用車使用申請書に必要事項を記入し、センターへ提出すること。

申請書には次のものを添付する。

- ①自動車検査証の写
- ②加入済自動車保険証券の写

2 自家用車使用許可の有効期間は1年とし、有効期間満了時に再申請しなければならない。

第5条（順守事項）

提供会員は、次のような運転行為、禁止行為をしてはならない。

- (1) 飲酒運転
- (2) 速度違反運転
- (3) 過労、居眠運転
- (4) 駐停車違反、放置駐車
- (5) その他道路交通法で禁止されている運転
- (6) 不正請求、白タク行為

第6条（事故報告）

提供会員は、交通事故が発生した場合、直ちに警察への報告等の対応をするとともに、センターへ事故内容等を詳細に報告しなければならない。

第7条（事故処理）

送迎で使用を許可された自家用車が、私用運転中に起こした事故については、センターは一切その責任を負わない。

第8条（移動サービス事業者向け自動車保険）

送迎中の賠償事故および自家用車の損害については、センターが加入している移動サービス事業者向け自動車保険（対人賠償責任保険・対物賠償責任保険・自損事故傷害特約・対物超過修理費用補償特約）で対応することができる※。

ただし、補償されない内容他、提供会員の希望により、会員自身で自家用車に付保した自動車保険で処理することもできる。※車両保険ありタイプは車両保険を記載してください。

2 移動サービス自動車保険の免責額は、提供会員の負担とする。

3 移動サービス自動車保険期間は、センターと保険会社との契約期間とする。

第9条（届出の義務）

次の各号に該当したときは、すみやかに所属長に届け出なければならない。

- (1) 申請書の記載事項に変更があったとき
- (2) 活動中に、交通事故および違反を起こしたとき
- (3) 自家用車使用をやめるとき

第10条（許可の取消）

この規定に違反した場合は、今後、自家用車での送迎の活動を認めないものとする。

第11条（改正）

本規定中、実情にそぐわない部分が生じたときには改正する。

付 則 この規定は、2021年5月1日より施行する。

以上

登録ドライバー・登録自動車一覧

No.	提供会員番号	提供会員登録 ドライバー	車名	自動車登録番号				車両所有者
1		東海花子	アルト	横浜	330	ぬ	1234	東海花子
2		佐藤譲	プリウス	横浜	110	け	7894	佐藤正彦
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								

別紙

* 別紙の連番を
ご記載ください

NO.

本紙記載の各提供日に対応する内容を記入
(注) 車名・提供会員名・日付が同一であっても、複数の活動を行った場合は NO を分
けて記入する (例: 下記サンプルの NO1, NO2)

通知書別紙兼事業者輸送記録

NO	登録番号	車名	提供会員名	日付	開始時刻	場所	終了時刻	場所	依頼ごども名	備考
1	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月1日	9:00	提供会員自宅	15:00	提供会員自宅	山田一郎	
2	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月1日	17:00	提供会員自宅	18:00	提供会員自宅	松井雄太	
3	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月2日	11:00	提供会員自宅	12:00	提供会員自宅	田中桃子	
4	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月14日	16:00	提供会員自宅	18:00	○×保育園	山田一郎	
5	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月15日	10:00	提供会員自宅	12:00	提供会員自宅	山田二郎	
6	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月25日	10:00	提供会員自宅	11:00	○×塾	山本三郎	
7	横浜330ぬ1234	ﾌﾞﾙﾄ	東海花子	5月29日	14:00	提供会員自宅	15:00	提供会員自宅	松井雄太	
8	横浜110ﾌ7894	ﾌﾟﾗｽ	佐藤譲	5月5日	9:00	提供会員自宅	10:00	提供会員自宅	山崎翔	
9	横浜110ﾌ7894	ﾌﾟﾗｽ	佐藤譲	5月6日	17:00	提供会員自宅	18:00	○×保育園	五十嵐信一	
10	横浜110ﾌ7894	ﾌﾟﾗｽ	佐藤譲	5月18日	10:00	提供会員自宅	11:00	○×塾	青山恵	
11	横浜110ﾌ7894	ﾌﾟﾗｽ	佐藤譲	5月19日	12:00	提供会員自宅	13:00	提供会員自宅	三井健介	
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										

